

No. 1632

北京でがんばれ

—— 日本選手結団式 ——

北京アジア大会に出場する日本選手団の結団式が9月17日東京代々木第二体育館で行われました。すでに現地入りした選手を除く630人の選手役員が一人ずつ紹介された後、古橋団長から団旗がバレーの佐藤伊知子選手に授与、秋篠宮殿下のお言葉、来賓の祝辞のあと、柔道の小川直也主将が「正々堂々と競技すると共に、アジアの仲間と友好を深めます」と決意表明。北京の秋空のもと、日本選手の活躍を期待したいものです。

山村で学ぶ

—— 長野・八坂村 ——

北アルプス連峰を正面に望む長野県北安曇郡八坂村。この村に野外活動センター「山なみ山荘」があります。昭和51年からここ八坂村ではじまった山村留学制度で今全国から小中学生34名がこのセンターで生活しています。1ヶ月のうち10日間センターで、あとの20日間を村の民宿で生活します。小学校まで4キロ、30分の道のりを歩いて通います。村立八坂小学校。2年前に新築されたモダンな校舎に都会から来た22名の生徒が学んでいます。校庭では秋の運動会にそなえて全校生徒87名全員が紅白に分かれて練習です。秋のつよい陽差しのなか、リレー、騎馬戦、綱引きと元気に取り組んでいました。八坂村切久保にある農業兼業の民宿。2人ずつ共同の部屋で自習にはげんでいます。静かな環境と共に一緒に生活する仲間との助け合いが勉強や精神面にも効果を生んでいるようです。夕食は6時、小学校4年から中学2年まで6人の生徒がこの民宿に世話になっています。12年前から母親代わりをしているお母さんは「自分の子供以上に可愛い」と言い卒業してからも交際がつづいているとのこと。自分の畑からとれた新鮮な野菜や果物を使った料理は子供たちの食欲を十分に満足させているようです。東京・大阪など都会の親元からはなれて自然の中で遊び、学び、育てゆくここでの生活体験は子供たちの将来の生き方に大きな影響を与えることでしょう。なお、10月5日から東京両国・国技館で「都市と山村交流フェア」が開かれます。